

講義・実習中におけるスマートフォン・携帯電話等に関するFD・SD研修会を開催しました

2015年3月9日

里親学生支援室では、平成27年2月18日(水)に看護学科棟の看護第1講義室においてFD・SD研修会を、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の後援として開催しました。

研修会では、まず、里親学生支援室員であり、解剖学講座(神経形態学部門)の相見准教授から「アンケート調査結果報告」として講演がありました。講演では、「里親学生支援室」が別途調査した「講義・実習中におけるスマートフォン・携帯電話等に関するアンケート調査」結果を基に、実際に、教職員がどのような対応をし、どのように考えているのか、また学生がどのような用途で使用し、どのような要望があるのかなどについての話がありました。

続いて、医療情報部 永田教授とマルチメディアセンター 重歳助教から、「知っているようで知らない情報化社会の変化 学生たちに何を教える必要があるのか？」と題して講演がありました。講演では、IT技術の進歩によってどの世代でも使える、知らなくても自然に使える時代となりコンピューターリテラシーが低下していることや、情報の発信や共有が簡単になったことによって問題がおこっていることなどの話があり、SNSの具体的なしくみやリスク、またリスクに対してどのように対処すべきかを他大学のSNSガイドラインを参考に説明がありました。

終了後のディスカッションでは、授業での先生方の講義資料の提示の仕方などについての意見交換があったほか、「マナーに関することや注意すべきことは、いろんなところで繰り返し説明していかないといけないのでは」などの意見がありました。また、教員や学生が自由に参加できる「教育を勉強する会」(仮名)を継続的にこなしていきたいので、希望者は要望を寄せていただきたいとの呼びかけがありました。

なお、今回の研修会には、県内看護学校の方々も含め、約40名の教職員の方々にご参加いただき有意義な研修になりました。



宿泊研修における交流会のご案内(3月18日開催)

2015年3月5日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている皆様方へ
滋賀県で働いておられる医師・看護師・保健師・助産師の皆様方へ

里親学生支援室では、3月18日(水)・19日(木)に
長浜市方面で宿泊研修を実施します。

3月18日の夜には、里親・プチ里親の方々や地域で勤務されている医師・看護師・保健師・助産師の皆様と参加学生との交流会を下記のとおり行いますので、是非ともご参加ください。

参加お申し込みの場合は、①第1部・第2部のいずれからご参加のご予定であるかと、②住所、氏名、連絡先等を電話・FAX・メールで3月10日(火)までに里親学生支援室へお知らせください。

また、ご多忙とは存じますが、開始のそれぞれ10分ほど前までには会場にお越しくださいますよう、お願いいたします。

記

1. 日時: 平成27年3月18日(水)

第1部: 講演・意見交換 17時10分～18時20分
(講演: 浅井東診療所 副所長 宮地純一郎氏
特別養護老人ホーム ふくら
看護主任 金森暢子氏
テーマ「施設看取りの先進的な取り組み、
家庭医との連携等」(仮題))

第2部: 懇談・会食 18時30分～20時30分

2. 会場: 長浜ロイヤルホテル

長浜市大島町38 TEL:0749-64-2000
JR琵琶湖線「長浜駅」徒歩13分

[問い合わせ先]

滋賀医科大学 里親学生支援室

077-548-2802

E-mail satooya@belle.shiga-med.ac.jp

平成26年度事業 FD(教育技能)研修会・意見交換会を開催しました

2015年2月6日

1月29日(木)滋賀医科大学 福利棟 多目的ラウンジにおいて「地域里親学生支援事業」の一環である「FD研修会・意見交換会」を開催しました。

今回の研修会では、本年度4月から副学長(教育・研究等担当)に就任された堀池喜八郎副学長から、「地域医療と医学教育」と題して、講演いただきました。

講演では、ご自身の経歴をはじめ、現在ご担当されている教育活動や滋賀県の地域医療における問題点などについてお話がありました。

つづいて里親学生支援室長の埜田和史准教授(社会医学講座)から、「直近の事業では、他大学の学生や看護学生の参加もあり、事業が広がりをを見せていると感じ、今後も、地域の方々への支援をうけながら、地道に活動を行っていききたい」との挨拶がありました。

その後は、和やかな雰囲気の中、出席者の自己紹介などを含め意見交換や懇談が行われました。

学生たちからは、「事業に参加することでより滋賀県を知ることができた」「今後、全国で若者を取り込んでいこうという取り組みがあると思うが、地域の人たちがどのように動いていくのに関心がある」との感想や、また、初めて参加された里親の先生からは、「里親として何かできるのではないかと思いますこの会に参加した」などの意見が聞かれました。

お忙しい中、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。



1月22日に「第4回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました

2015年2月6日

1月22日(木)午後6時から滋賀医科大学CMCホールにおいて「第4回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました。

講師には、医学科卒業生(8期生)で、現在近江八幡市において開業(小児科)されており、里親学生支援室里親にも登録いただいている石塚千恵先生をお招きし、「～研修医、勤務医、開業、子育て～卒業26年の四方山話」というテーマでお話をいただきました。



1つ目に、大学卒業後、滋賀医科大学小児科での研修医(2年間)・医員(2年間)時代は、医師としての基盤づくりと、結婚、第一子出産、夫の両親との同居が一気にスタートしたが、その新たな生活において「自分中心の主張だけではダメで、周囲の人との協力と譲り合い」が大切である事を学んだこと。

2つ目に、びわこ学園医療福祉センターでの勤務医(9年間)時代は、医師として専門性と研究活動に専念し、第二子出産もあった。その環境で「患者さんが中心で、その周りを囲む患者さんのご家族、上司、同僚の大きな輪の中に自分もいること、その和を大切にすること」を学んだこと。

そして現在、近江八幡市で開業医として地域の患者さんの疾患を診療するだけでなく、今までの経験を生かし育児支援のできる医師を目指し日々奮闘されているご様子を生き生きと聞かせていただきました。

自分自身が一番と考える「ピラミット型」思考が多い現在において、関係者との和を一番と考えながら前向きに行動されてきた先生のお話から参加された13名の学生は、将来への勇氣と希望をもらうことができました。

ご多忙の中講演いただきました石塚 千恵先生、本当に有難うございました。



参加された学生さんの声

- ・自分の将来に対するイメージや気持ちの持ち様を考えることができました。自分のキャリア、子どもを産みたい気持ち、家庭を大切にしたい気持ちがせめぎあって、まだ研修病院の場所も何も決めることができていませんが、今日お話を聞いて、自分がいいと思うこと、大切にしたいことをその時々で考えながら、周りの協力も請いたいと思いました。そのためには自分自身の人柄や、困っている人へのヘルプを迷わずすることが重要ななと思いました。
- ・「自分自分」ではなく、患者さん、子どもを中心に周りの人々と協力しようとすると、上手く回り始めるものだ、という言葉が心にしみました。
- ・女医さんのお話が聞きたいと思っていたので来てよかったです。すごい方だなと思いました。つながりのある人のために頑張ってこられたキラキラした目が印象に残りました。
- ・母親業として、女医さんとして、とても両立されているお話を伺いまして、私もばりばり働きたいなと思いました。今回参加できて本当に良かったです。
- ・すごく生き生きとしたお話がきけて、私も先生のように働いてみたいと思った。困難に立ち向かうのも、すごく糧になると思った。
- ・家庭を大切にしている女医さんのお話を聞くことができ、参考になりました。育児・仕事の両立はやりたいたけど、自分にはできないないと思っていましたが、私もがんばろうと思いました。ありがとうございました。

11月6日に「第3回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました

2015年2月6日

11月6日(木)午後6時から滋賀医科大学CMCホールにおいて「第3回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました。

精神科の先生のお話を聞きたいという学生さんの希望で、医学科卒業生で現在は滋賀医科大学精神医学講座教授の山田尚登先生(2期生)、琵琶湖病院理事長・院長の石田展弥先生(2期生)、いしやまクリニック院長の有村真弓先生(23期生)をお迎えし、「将来の君たちに滋賀医大の先輩が語る-教授になる方法、病院長になる方法、クリニック院長になる方法-」というテーマでお話をさせていただきました。

山田先生からは、統計資料をもとに滋賀医科大学開学以降30数年間に精神科に入局した医師達のその後の進路と現在の地位について、また、教授となるための必須条件についてお話をいただきました。



石田先生からは、初めての精神科研修医として入局した当初から現在までの歩みを、同期生であった山田先生との関わりを交えながら楽しくお話いただきました。

有村先生からは、勤務医から開業医になった経緯を猫の話題を交えながら明るくお話いただきました。

どの先生も将来像を若い時から持っていた訳ではなく、チャンスが訪れた時に積極的にチャレンジした決断の結果が現在に至っているとお話でした。



参加された22名の学生は、各先生のざっくばらんな話を聞くことができ、とても為になり、和やかで楽しい一時を過ごせたようです。また、自分の将来を考える良い機会になったようです。

ご多忙の中講演いただきました山田先生、石田先生、有村先生、本当に有難うございました。





参加された学生さんからの声

- 精神科医に興味があったので、今回参加させていただきました。先生のリアルな体験の話、精神科はさまざまな分野で社会貢献ができるといったここでしか聞けない話がたくさん聞けてとても楽しかったですし、将来こんなことをしてみたいという希望もたくさん持てました。
- 精神科のイメージが重い感じだと思っていたので、先生方もそんな感じなのかなと思っていましたが、とてもおもしろい方々で驚きました。自分に与えられたチャンスをいかに生かせるかが大切なのかなと感じました。
- 生々しい話がお聞きできて、とても刺激的でした。三者三様のお立場からのお話は、微妙に差がある部分と一方で根っここのところで共通する部分もあって、とても参考になりました。
- 先生たちが楽しそうに話されていたのが印象に残りました。進路についてはまだ何も決められていないけれど、自分の履歴や現在について楽しく話せるような将来にしたいと思いました。
- とても楽しくためになりました。行政の関わりや、臨床と研究の関係など、考えたことのないようなお話もありました。あと、チャンスをいつも逃がしてしまう方なので、ものを恐れすぎずやってみることも大事だと思えました。
- 医局に入ると教授が人事を掌握しているということがよくわかりました。教授になるのに必要な条件という話は、他で聞いたことがなかったのでよかったです。
- さすが山田ファミリーという感じで本当に楽しかったです。開業は自分にはムリかなと思っていましたが、いけるかもしれないと思いました(笑)。医者＝まじめでなければ、と思っていましたが、楽しく生きるのが一番かなと思いました。
- 行動力があれば何でもできそうだなと思いました。精神科の先生がすごいフレンドリーでびっくりしました。

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている
みなさま方へ

滋賀県に勤務されている
医師・看護師・保健師・助産師のみなさま方へ

里親学生支援室では、下記のとおり「里親学生支援事業」の一環としてFD(教育技能)研修会・意見交換会を開催いたします。

本会は、日頃お世話になっている皆さまと里親学生支援室員や里親事業登録学生との意見交換や交流の場としております。

寒さ厳しい頃とは存じますが、事業に対するご意見等を賜りたく、お時間のご都合がございましたら、是非ともご出席くださいますようご案内いたします。

記

日時：平成27年1月29日(木)
午後6時から1時間30分程度

会場：滋賀医科大学 福利棟 2階 多目的ラウンジ
大津市瀬田月輪町
TEL.077-548-2802
(JR瀬田駅下車 バス10分)

講演：滋賀医科大学 副学長(教育・研究等担当)
堀池 喜八郎
テーマ
「教育環境リニューアル
-教育担当副学長からの報告-」(予定)

その他：当日は軽食を用意いたします。

お申込みは、1月7日(水)までに
[里親学生支援室](#)にご連絡ください。

学園祭で地域「里親」ブースを設けました

2014年11月4日

10月25日(土)～26日(日)に滋賀医科大学の学園祭(若鮎祭)が開催され、里親学生支援室も、昨年と同様に福利棟の一角で、今年もNPO法人滋賀医療人育成協力機構との合同のブースを設けました。

今年は、両日とも気持ちの良い秋晴れの中開催することができ、ブースでは、滋賀県内で里親登録いただいている先生方の分布図やNPO法人滋賀医療人育成協力機構との協同事業の活動ポスターの掲示や、過去の宿泊研修やワークショップの写真スライドの放映を行いました。

また、機構広報誌「めでる」等の発行物を自由にお持ち帰りいただけるようにして、里親学生支援事業の取り組みを広くPRするよう努めました。

ご来場のうえブースにお立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。



【ご案内】学園祭での地域「里親」ブース設置について

2014年10月14日

里親学生支援室では、学園祭（若鮎祭
<http://www.shiga-med.ac.jp/~wakaayu/>）期間中に地域
「里親」ブースをNPO法人滋賀医療人育成協力機構と合
同で設け、事業の紹介や活動内容等をご覧いただけるビデオ
の放映や写真等の展示を行います。

お時間のご都合がございましたら、是非お越しく下さい。

ブース開設時間

日時：平成26年10月25日（土）
12:00～17:00
10月26日（日）
10:00～16:00

場所：滋賀医科大学 福利棟1F

⇒⇒⇒



里親学生支援室だよりNO.7～NO.13

2014年10月9日

「近江八幡市方面での宿泊研修を実施しました」2014年8月28～29日開催

⇒ 里親学生支援室だよりNO13.pdf

「大津・湖南方面での宿泊研修を実施しました」2014年3月18～19日開催

⇒ 里親学生支援室だよりNO12.pdf

「彦根・米原方面での宿泊研修を実施しました」2013年8月28～29日開催

⇒ 里親学生支援室だよりNO.11.pdf

「信楽等甲賀・湖南方面での宿泊研修を実施しました」2013年3月18～19日開催

⇒ 里親学生支援室だよりNO.10.pdf

「永源寺等東近江方面での宿泊研修に参加しました」2012年8月28～29日開催

⇒ 里親学生支援室だよりNO.9 .pdf

「余呉・長浜等湖北方面で宿泊研修に参加しました」2012年3月22～23日開催

⇒ 里親学生支援室だよりNO.8.pdf

「高島・朽木等湖西方面で宿泊研修を実施しました」2011年8月30～31日開催

⇒ 里親学生支援室だよりNO.7.pdf

「彦根市の地域医療を守る会」第29回 勉強会

日時：平成26年11月15日(土) 10:00~11:30

場所：彦根私立病院 医療情報センター

テーマ①：「彦根市の在宅医の現状と課題」

彦根市福祉保健部長 川 崎 孝 氏

テーマ②：「安心安全に暮らせるまちづくりをめざして、古沢町の挑戦」

古沢町 松 岡 孝 子 氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒

「彦根市の地域医療を守る会」第29回勉強会

彦根市の在宅医の現状と課題
内容 「働き難」から「支える難」へのシフトにおける課題を、自治体に訴えかけるための、その課題を解決する。

彦根市福祉保健部長 川崎 孝 氏

安心安全に暮らせるまちづくりをめざして、古沢町の挑戦
内容 高齢者が多く住んでいる地域で、高齢者からできることをめざすための取り組みについて

古沢町 松岡 孝子 氏

1 日 時 11月15日(土) 10:00~11:30
2 場 所 彦根市立病院 医療情報センター
(北郷入り口より入ります)※事前の予約
3 参加費 1000円 (講師等の旅費は別)※

※年、年齢、お席等ご希望ください

※、会のアドバイザー「近江警察協会」の事務局一任で、勉強会開催していただきます。勉強会には、近江警察協会から職員が、近江警察協会の事務局として参加いたします。
この日の参加費として「近江警察協会」です。近江警察協会の事務局を兼ねたみんなで北郷湖まで、安心して暮らせるまちづくりをしようとしています。近江警察協会の活動が「近江警察協会」ではないから近江警察協会が主催する勉強会です。詳しくは、事務局にお電話ください。

彦根市の地域医療を守る会 代表 川崎 孝子

近江八幡市方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました！

8月28日(木)29日(金)に近江八幡市方面でNPO法人滋賀医療人育成協力機構に協賛し、平成26年度夏の宿泊研修を実施しました。本研修には、里親登録学生を含めた本学学生18名と近江八幡市立看護専門学校生2名が参加しました。

1日目は、まず琵琶湖最大の島であり、日本の湖水に浮かぶ島では唯一人が住んでいる沖島の自然と文化、1週間に一度開所される診療所の様子を見学させていただくことを目的に島を訪問しました。

島ではボランティアガイドの案内により、大人1人ほどが何とか通れる民家の間を抜け、奥津島(おきつしま)神社や西福寺などを見て回りました。

昼食には、島の婦人会の皆様による島の名産品を詰めた手作りのお弁当をいただいた後、コミュニティーセンターで毎週木曜日午後1時30分から、近江八幡市蒲生郡医師会の医師と近江八幡市立総合医療センターのスタッフで開所される診療所の様子を見学させていただきました。診療所では、自力で島外へ受診に行けないお年寄りの方々が診察に訪れられており、このような方々のためにも週一回の診療所の開所は必要不可欠なものであると感じられました。





次に近江八幡市立総合医療センターを訪問し、最初に西澤副院長から病院概要について説明を受けた後、院内を見学させていただきました。センターは全面ガラス張りで自然の光を取り入れた明るい病棟や、各診療科ごとに整理されアクセスしやすい外来、急性期に特化した救急設備などが充実していました。最後に、地域医療課清水参事から沖島での診療について説明をいただきました。学生からは、センターの地域医療課の役割等についての質問がありました。



夕方は、宿泊先であるグリーンホテルYes近江八幡において交流会を開催しました。

交流会の第1部では、近江八幡市蒲生郡医師会副会長 山本克與氏から「近江八幡地域における医師会活動と沖島等での医療活動の実情等について」、ヴォーリズ記念病院在宅サービス部門長(兼)訪問看護ステーション・ヴォーリズ所長 向 美保氏から「訪問看護ステーションでの活動報告」についてご講演いただきました。

また、交流会2部では、訪問先の関係者の方々や医師会の方、里親・プチ里親の方々など総勢11名の方にご参加いただき、各々の立場での地域医療についての役割や思いをお話いただく等、貴重な意見交換、懇談の場となりました。





2日目の午前も、ボランティアガイドの案内により近江八幡市の旧市街地を見学しました。まず、近江八幡の旧城下町や琵琶湖を一望できる八幡山に上がり、その後、ヴォーリズ建築を中心に旧城下町を散策しました。



午後からは、近江兄弟社ヴォーリズ記念病院を訪問しました。まず緩和ケア医の細井部長から、ホスピス医になられたきっかけやホスピス医の仕事についてお話をいただき、次に周防病院長から、病院概要について説明を受けた後、3月に出来上がった回復期リハビリテーション病棟、訪問看護ステーション等を見学させていただきました。また、礼拝堂の内部も見学させていただくことができ、その際には、丁度その場におられた安部牧師からお話を聞くことができました。学生は病院における牧師の役割等についても熱心に質問していました。



今回もまた、地域の方々をはじめとして、たくさんの医療関係者等の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程
～近江八幡市方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

●8月28日(木)1日目

滋賀医科大学(出発)<8:30>
↓
堀切新港(乗船)<10:15～10:25>
↓
沖島(説明・見学・昼食)<10:30～14:00>
(沖島診療所(見学)<13:30～13:50>)
↓
沖島漁港(乗船)<14:00～14:10>
↓
近江八幡市立総合医療センター(説明・見学)
<15:00～17:00>
↓
グリーンホテルYes近江八幡<17:10頃到着>(交流会・宿泊)
夜は地元の方々・里親の先生方との意見交換、交流会

●8月29日(金)2日目

グリーンホテルYes近江八幡(出発)<8:50>
↓
近江八幡市内(見学)<9:15～11:50>
ボランティアガイドの方に案内いただきます
ひむれ
(村雲御所瑞龍寺・日牟禮八幡宮・旧八幡郵便局
・ヴォーリス記念館)
↓
坪清(昼食)<12:10～13:00>
↓
ヴォーリス記念病院(説明・見学)<13:30～15:30>
↓
滋賀医科大学(解散)<16:30頃>
↓
瀬田駅(希望者ありの場合)

8/28(木)

グリーンホテルYes近江八幡での交流会日程

17:45～18:45 交流会<第1部>講演/意見交換等
近江八幡市蒲生郡医師会 副会長 山本克與氏
「近江八幡地域における医師会活動と沖島等での医療活動の実情等について」(仮題)
ヴォーリス記念病院
在宅サービス部門長(兼)
訪問看護ステーション・ヴォーリス所長 向 美保氏
「訪問看護ステーションでの活動について」(仮題)

18:45～20:45 交流会<第2部>学生報告会/懇談/会食
21:00～ 学生同士交流会

宿泊研修における交流会のご案内(8月28日開催)

2014年7月29日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている皆様方へ
滋賀県で働いておられる医師・看護師・保健師・助産師の皆様方へ

里親学生支援室では、8月28日(木)・29日(金)に
近江八幡市方面で宿泊研修を実施します。

8月28日の夜には、里親・プチ里親の方々や地域で勤務されている医師・看護師・保健師・助産師の皆様と参加学生との交流会を下記のとおり行いますので、是非ともご参加ください。

参加お申し込みの場合は、①第1部・第2部のいずれからご参加のご予定であるかと、②住所、氏名、連絡先等を電話・**FAX**・メールで8月8日(金)までに里親学生支援室へお知らせください。

また、ご多忙とは存じますが、開始のそれぞれ10分ほど前までには会場にお越しくださいますよう、お願いいたします。

記

- 1、日時 平成26年8月28日(木)
- 第1部 講演・意見交換
午後5時45分～午後6時45分
(講演:「近江八幡地域における医師会活動と
沖島等での医療活動の実情について」(仮題)
近江八幡市蒲生郡医師会 山本 克典氏
「訪問看護ステーションでの活動について」(仮題)
ヴォーリズ記念病院
在宅サービス部門長
(兼)訪問看護ステーション・ヴォーリズ所長
向 美保氏)
- 第2部 学生報告会・懇談・会食
午後6時45分～午後8時45分
の予定
- 2、会場 グリーンホテルYes近江八幡
近江八幡市中村町21-6 (TEL) 0748-32-8180
JR琵琶湖線「近江八幡駅」から徒歩7分
関連URL http://www.gh-y.com/htm01/access_o.htm

[問い合わせ先]

滋賀医科大学 里親学生支援室
077-548-2802
E-mail satooya@belle.shiga-med.ac.jp

プチ里親の方から勉強会のお知らせです(9月20日開催)

2014年7月29日

「彦根市の地域医療を守る会」第28回 勉強会

日時：9月20日(土)10:00~11:30

場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ1：「湖東地域での救急医療体制について」

講師 彦根市消防本部警防課救急管理係長 門西吉則氏

テーマ2：「だまされないで！～色んな詐欺の手口を知って、自分を守るために～」

講師 滋賀県彦根警察署巡查部長 藤田千人氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒⇒

「彦根市の地域医療を守る会」第28回勉強会

♡ごあいさつ

彦根市消防本部 吉村正樹消防長



♡湖東地域での救急医療体制について

内容 彦根市消防本部の救急の現状(救急車の適性利用)
講師 彦根市消防本部警防課救急管理係長 門西吉則氏



♡だまされないで!

内容 いろいろな詐欺の手口を知って、自分を守るために
講師 滋賀県彦根警察署巡查部長 藤田千人氏

記

- 1 日時 9月20日(土) 10:00~11:30
 - 2 場所 彦根市立病院 医療情報センター
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
 - 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使います。)
- メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

皆様の温かなご協力のおかげで、この会も5年目に入りました。感謝いっぱいです。ありがとうございます。

地域医療への意識改革を旨として立ち上げた会です。

世界一高齢化が進んだ日本で、過剰医療への医療費の削減をし、多職種連携で、住み慣れたこの町で最期まで安心して生きられるように思っています。

「戦う医療」から「支える医療」に彦根もシフトしていけるよう、皆様と共に学んでいきたいと思えます。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

彦根市の地域医療を守る会 代表 川村 啓子

前回は、彦根市立病院より、吉村消防長と藤田警察署長が来てくれて、大変勉強になりました。ありがとうございました。

2014年度 事業計画

2014年6月23日

- 4月～3月 里親学生支援室において本取組の実務を行う。
4月～5月 新入生に対して、参加登録の募集を行う。
5月 参加登録希望学生の属性や希望事項等の調査を行う。
6月 学生と「里親」をマッチングさせる。
6月 里親学生支援室員と学生との懇談会を行う。
8月 県内出身自治医大同窓会主催のワークショップに参加する。
8(9)月 夏期宿泊研修を実施する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
10月 若鮎祭(学園祭)開催時に滋賀医療人育成協力機構と協同で『地域「里親」ブース』を開設し、取組事業のPRを行う。
里親、プチ里親と学生との交流の機会とする。
10月～11月 教職員向けのFD研修会を開催する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)
11月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う。
1月 「里親」「プチ里親」向けのFD研修会・意見交換会を開催する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)
3月 春期宿泊研修を実施する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
3月 次年度の計画をたてる。

里親登録学生と里親学生支援室員の顔合わせ(懇談会)を行いました

2014年6月20日

6月13日(金)の昼休みに、里親登録学生(新規登録学生5名を含む)と里親学生支援室員との懇談会を、CMC(クリエイティブモチベーションセンター)ホールで開催しました。

まず、初めに学生と室員の自己紹介が行われ、次に、埜田室長から里親学生支援事業の概要についての話があり、今年度の事業計画について具体的な説明がありました。学生には、里親の事業に積極的に参加することで滋賀県をもっと知ってほしい、また、地域医療に興味を持っている友人やクラブの後輩なども誘って参加して欲しいとの呼びかけがありました。

今後の事業予定

- 1 学生と里親とのマッチング(新入生7名)
- 2 夏期宿泊研修 近江八幡市方面(8月28日～29日)
- 3 里親・プチ里親との研修会・意見交換会(1月)
- 4 春期宿泊研修 湖北方面(3月)

その他、決定次第、随時メール等で案内します。



4月23日に「第2回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました

2014年5月9日

4月23日(水)午後6時から滋賀医科大学CMCホールにおいて「第2回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました。

講師には、医学科卒業生(25期生)で、あざいリハビリテーションクリニック院長で、里親学生支援室学外室員、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の理事もされている松井善典先生をお招きし、「医学生・看護学生のあなたがプロの医療者になるための『二人の自分を大切に育てるコツ』」というテーマで、お話いただきました。教師を目指していた高校生が、1日看護師体験で見学した整形外科の手術の感動から、医師を目指すことも選択肢となり、その後の進路選択と決定、滋賀医科大学での大学生活、大学卒業後の2年間の初期研修先の選択と決定、3年間の後期研修先の選択と決定、2年間のフェローシップ、そして故郷長浜へ戻ってからの仕事について、成長していくうえでのロールモデルとなる人の出会いとつながり、応援し支援してくれる方のご縁を大切に育て続けること、経験を振り返ることの大切さについて、御自分の体験談を通して、和やかに聞かせていただきました。

参加した24名の学生は、熱心に先生の話聞き、また、色々な質問をし、充実した時間を持つことができました。

また、先生の前向きで元気なお話から、将来への勇気と元気をもらうことができました。ご多忙の中、講演いただきました松井善典先生、本当に有難うございました。

この「卒業後の自分を考える連続自主講座」は、定期的に学生が希望する講演テーマで開催しますので、ご要望をどしどしNPO法人滋賀医療人育成協力機構(里親学生支援室)までお届けください。



～参加学生の感想を一部紹介～

- ・「目標のたて方」という言葉にはっとしました。医学部に入学して以来活動したくても日々の勉強に忙殺されてやりたい学びが全くできずより消極的になっている自分に嫌気がさす日々でしたが、今は今の自分にふさわしい目標をたてようと思います。
- ・「自分らしい自分」と「プロとしての自分」という見方がなかったので、日頃のモヤモヤを整理するきっかけとなった。
- ・「与えられた役割と環境を生かして」と「成人学習型」の2点が印象に残りました。普段、何気なく過ごしている大学生活や出会いにも意味があり、その中で疑問を感じ、行動に移すことを目標にしたいと思います。授業では聞けない重要なヒントを教えていただき、本当にありがたかったです。

平成25年 4月 1日 里親学生支援室(継続設置)における新年度業務を開始

平成25年 4月5日～5月上旬

1年生に対し、新入生オリエンテーションや医学概論 I
などの時間を利用してプロジェクトの説明
パンフレットを配布して参加学生を募集

平成25年 4月10日 里親学生支援室だより No.10発行

平成25年 6月13日 里親学生支援室会議開催

平成25年 6月20日 里親学生支援室員と参加希望学生との懇談を実施
支援対象学生の確定・支援内容の具体的説明・学生の
属性や希望事項等の調査

平成25年 8月 2日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング
決定

平成25年 8月28日～29日

宿泊研修「彦根・米原方面の医療と歴史・文化を
学ぶ」を実施
参加者数 学生16名(内自治医科大学生4名含む)
教職員9名(内機構職員2名含む)
(滋賀医療人育成協力機構との協同で実施)

平成25年 9月20日 里親学生支援室だより No.11発行

平成25年10月26日～27日

若鮎祭(学園祭)開催時に「里親学生支援室ブース」
を開設(滋賀医療人育成協力機構との合同で開設)

平成25年11月28日 里親学生支援室会議開催

平成25年12月14日 「環びわ湖大学地域交流フェスタ2013」で活動内容等を展示
(滋賀医療人育成協力機構と共催・龍谷大学)

平成26年 1月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う

平成26年 1月23日 里親・プチ里親対象の「FD研修会・意見交換会」
を開催

平成26年 3月18日～19日

宿泊研修「大津・湖南方面の医療と歴史・文化
を学ぶ」を実施
参加者数 学生13名(内自治医科大学生2名含む)
教職員10名
(滋賀医療人育成協力機構職員2名、滋賀県
医師キャリアサポートセンター職員1名含む)

(滋賀医療人育成協力機構との協同で実施)

プチ里親の方から勉強会のお知らせです(6月21日開催)

2014年4月25日

「彦根市の地域医療を守る会」第27回 勉強会

日時： 6月21日(土)10:00~11:30
場所： 彦根市立病院 医療情報センター
テーマ： 「福祉日本一」のまちを目指して
講師： 彦根市長 大久保 貴 氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒⇒⇒⇒

「彦根市の地域医療を守る会」第27回勉強会

♡「福祉日本一」のまちを目指して

内容 私は、主に高齢者福祉と障害者福祉の場面で、長い間働いてきました。「福祉」という文字は、どんなにも「福祉」を認識します。「福祉日本一」という公約を掲げ市長になった今、私はすべての市民が幸せに暮らせるまちづくりを目指しています。

講師 彦根市長 大久保 貴 氏

市長様のお話、具体的に何がどう進んでいるのか、詳しいお話をしてみたい。村上智彦先生はいつも現場から教えているとおっしゃっていますから。

日 時 6月21日(土) 10:00~11:30

場 所 彦根市立病院 医療情報センター
(北入りロより入ってすぐ東側の建物)

3 参加費 100円 (送付等の事務費に使用します。)
メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

3月、同じこのラジオ「こころと体の勉強会」に4回連続で出ました。彦根市の地域医療を守る会の立ち上げから、村上智彦先生のご講演についてまでお話し、内容的には刺激的なもので、参加者もみんな喜んで、やり文をたくさんお返しました。私事でありますが、僕の働く人への働きかけで知事表彰を頂きました。在学中の介護の勉強、私がやっていました。色々聞かれて、介護の勉強の経験、お返すことになりました。今でも皆さんの励みになってお話をしています。村上智彦先生のおかげで、Facebook、ブログに大きく使われていたことが、感謝しています。

地域医療を守る会 代表 川村 啓子

前田 彦根市立病院医療情報センター 川村 啓子

大津・湖南方面で宿泊研修を実施しました！

2014年4月9日

3月18日(火)19日(水)に大津・湖南地域方面で平成25年度春の宿泊研修を実施し、里親登録学生を含めた本学学生11名と自治医科大学学生2名が参加しました。

1日目は、JR大津駅を出発し、徒歩で滋賀県庁へ向かいました。県庁では、滋賀県健康福祉部角野次長から、滋賀県健康福祉部の行政組織図を元に、滋賀県の健康や医療、福祉について、具体的にどのようなことを担当しているのかなどのお話がありました。

参加学生からは医者として行政にかかわっておられる角野先生の仕事へのやりがいなどについて、多くの質問がありました。



その後、地域の中核病院である大津市民病院、大津赤十字病院をバスの車窓から見学し、大津市坂本地区にある延暦寺の里坊である滋賀院門跡に向かいました。滋賀院門跡では、伝教大師(最澄)の教え、滋賀院に残る数々の文化財、小堀遠州作の庭園について、じっくりと説明を聞きながら見学をしました。また、滋賀院門跡に隣接する慈眼大師(天海)の廟所である慈眼堂や、穴太衆積の石垣が残る里坊の町並みを散策し、歴史を肌で感じることができました。



午後からは、坂本地区に診療所を開設し26年目の坂本民主診療所を訪問しました。診療所では、今村所長から診療所の開設当時のお話を含め、診療所の日常の役割や在宅医療の現状、地域包括ケアについてのお話がありました。質疑応答では、学生から地域医療にかかわる多くの質問がされました。その後、院内の施設を見学させていただき、看護学科の学生は、看護師の方々にお話を聞かせていただきました。次に、班別に分かれて診療所近くの介護福祉施設等(日和の里、デイサービスセンターこすもす、良の家、雅荘、宅老所はな)にそれぞれ訪問し見学実習をさせていただきました。



夕方からは、宿泊先であるKKRびわこにおいて交流会を開催しました。交流会の第一部では、済生会滋賀県病院社会福祉事業課 石井啓介氏から「地域医療支援病院としての当院の役割」というテーマで、滋賀県がん患者団体連絡協議会長 菊井津多子氏から「医療者に伝えたい事」というテーマで、それぞれご講演いただきました。

交流会の第二部では、訪問先の関係者の方々や医師会の方、里親・プ子里親の方々など総勢13名の方にご参加いただき、各々の立場での地域の医療についての考えや思い等をお話いただく等、貴重な意見交換、懇談の場となりました。



2日目は、まず、平成6年に世界文化遺産に登録された、天台宗の総本山である比叡山延暦寺を訪れました。ここでは、室員である解剖学講座相見准教授の説明で、滋賀医科大学しゃくなげ会の慰霊法要でお借りしている阿弥陀堂をはじめ、不滅の法灯のある根本中堂などを見学しました。その後、横川にある滋賀医科大学霊安墓地へ向かい、黙祷を行った後、墓地内の掃除を行いました。



午後からは、守山市にある県立成人病センターを車窓から見学し、栗東市の社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院を訪問しました。済生会滋賀県病院では、救急センターを見学後、塩見救命救急副センター長からは、県湖南地域で唯一の3次救命救急センターとしての役目と、県内初のドクターカーの運用等についてのお話があり、馬場病理診断科部長から病院における病理医の役目についてお話いただき、学生からもたくさんの質問がありました。その後、総務部の小林さんから、病院概要についてのお話をいただき、ヘリポートや外来など院内を見学させていただきました。





大学までの帰路では、草津市にある草津総合病院を車窓から見学し2日間の宿泊研修を終えました。

今回も、また、地域の方々を始めとして、各地域の医療関係者等多くの方々にご協力いただき、ふれあいのある心温まる研修となりました。この場をお借りして、ご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

なお、今回の研修では、京都新聞による取材がありました。